

蕨 広報WARABI 11

2013/平成25年
わらび・749

- 平成25年11月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 10月1日現在人口：72,181人 前月比 -10人
男 36,693人 女 35,488人
世帯数：35,661
人口密度：14,153人/km²



子どもたちの豊かな発想で 秋の実りもいっそう美味に

第3土曜日に錦町のちびっこ広場で開かれているプレーパーク（運営＝どろんこの王様）。10月は食材を持ち寄り、焼きイモのほか、焼きリンゴや焼きガキにも挑戦しました。ここにはいつも、遊びと自然に育まれた、子どもたちの笑顔と自由な発想が広がっています。

～今月の特集～

- くるる演劇講座
- 蕨高レストラン

わ
WARABI



熱心に指導する池端さん(右から2人目)と聞き入る受講生

くるる
演劇講座
12月21日(土)
堂々!! 発表

池端俊策の世界で 個性派11人が輝く

脚本家として著名な池端俊策さん(中央在住)を講師に招き、文化ホールくるるでは、1月から1年間に及ぶ演劇講座を開催しています。稽古に励むのは、会社員や主婦など11人。来月21日には、その集大成となる舞台「わけあり時計店」を上演します。個性豊かな面々が織りなすステージは必見です。

講

座の受講生は昨年行われたオーディションに

合格した11人。年齢は24歳から69歳までで市民だけでなく県外在住者など、顔ぶれはさまざまです。ただ、日頃は会社員や主婦などで、本格的な演劇は初めての人が大半です。そんな受講生たちを指導し、舞台「わけあり時計店」を執筆したのは池端俊策さん。池端さんが講座を手がけたきっかけは、平成22年の『広報蕨』新春座談会で頼高市長や、今回、沙希役を演じる小野さんと地元蕨で演劇の新作を発表できたらと話したことからです。それから4年。来月21日、その約束が実現されます。脚本は池端さんが演技指導をするなかで、メンバーの個性を生かせるようにと練り上げられたものです。個性派11人が演じる池端ワールドをく

らんで体感してみませんか。いつもと違う自分を演じてみたいという気持ちは、誰にでもある本能だと思います。11人の受講生たちもふだんは会社員や主婦などです。彼らとともに本能を楽しもうと、芝居という「遊び」を

上達する様子に喜び
舞台発表にご期待を

Shunsaku Ikehata
脚本・演出 池端 俊策 さん



脚本家・映画監督としてテレビドラマや映画、舞台など多くの作品を手がける。平成21年に紫綬褒章受章、22年度にはNHK放送文化賞受賞。作品はテレビ「太平記」、「協奏曲」、「帽子」、映画「優駿」、「あつもの」など多数

物語の
あらすじ

わけあり時計店

かつては妻子がいたが、わけあって、今は独りで時計店を営む高沢。肺がんの疑いと診断されたのを不動産屋・栗山と水道屋・柿の木に告げると、彼女たちは大慌て。なぜなら、高沢に数百万のお金を貸していたから。なんとか借金を回収しようと栗山はある条件の下、時計店の2階を貸し出す一計を案じる。そして、同居が決まったのは沙希と竜平の若いカップル。でもどこかわけありの様子。それから3人の奇妙な同居生活が始まる。

行い、そうしたなか、各自の個性を引き出せるよう、脚本を書き下ろしました。初めは、うまく演じようと意識してぎこちなかった動きも、しだいに堅さが取れ、自然な形で表現できていく姿に演出家として喜びを感じています。この物語の登場人物はわけありの人ばかり。それぞれのわけが重なり合い、展開していく話を受講生たちがどう演じて、どのような舞台になるのか、私自身も楽しみます。



くるるで躍動する**11人**
の出演者たち

ここでは、今回の舞台に出演する皆さんの顔ぶれと、白鳥沙希役を演じる小野友季菜さんと常井乃葉さんにお伺いした講座を受けた感想や発表への意気込みなどを紹介します。



写真左上から時計回り
かっこ内は役名

松澤 輝朝さん (A班 高沢 与志)
土居 玉枝さん (A班 栗山 光)
藤村 明史さん (B班 高沢 与志)
自覚 真由美さん (B班 栗山 光)
津崎 剛範さん (平 竜平)
木村 利子さん (富小路 綱子)
梶原 琢也さん (深戸 金一)
田島 秋子さん (柿の木 実子)
和泉 聡子さん (近松 ひばり)



B班
白鳥 沙希 役



とこいのば
常井 乃葉さん
中央1丁目在住

異空間で感じられる
演劇の楽しさ難しさ

演劇経験はなかったのですが、仕事が休みの日で参加しやすいかなと、応募しました。役に成りきり演じていると日常と別空間にいる感覚が楽しめるし、リフレッシュできます。でも池端先生がおっしゃる、いかに自然に演技するかというのは難しいですね。発表まで2か月。脚本のポイントをしっかり表現し、観客に伝わるようがんばりたいです。

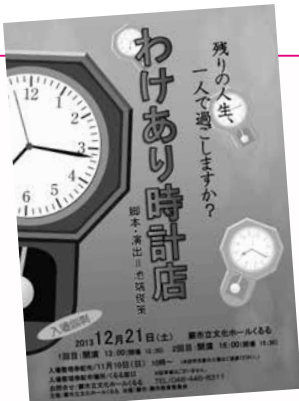
うれしい舞台の実現
怖がらず楽しみたい

4年前、宿場まつりのミス織姫として臨んだ座談会で話した内容が実現してうれしいです。現在、演劇養成所に通っていますが、講座で池端先生からせりふを言う際の癖を指摘されたり、感情の揺れの表現のしかたを教わったりと、とても勉強になっています。本番までじゅうぶんに稽古を重ねて、当日は怖がらず、楽しんで沙希を演じたいです。

A班
白鳥 沙希 役



おのゆきな
小野 友季菜さん
南町1丁目在住



くるる
演劇講座 「わけあり時計店」

～残りの人生、一人で過ごしますか？～

1日2回
公演

と き = 12月21日(土)

開 演 / 1回目(A班) = 午後1時
2回目(B班) = 午後4時

と ころ = 文化ホールくるる 入場無料

整理券配布 = 11月10日の午前10時から同施設

問い合わせ = 文化ホールくるる (☎446・8311)



JR 阪駅西口より徒歩3分

小学生が描いた 防火ポスター展



秋の火災予防運動週間
11月9日～15日

全国統一防火標語「消すまでは 心の警報 ONのまま」

蕨市消防本部と蕨防火協会では、毎年、防火ポスター展を開催しています。今年も市内7小学校の児童より303点の力作が寄せられました。4、5学級では入賞作品の一部をご紹介します。また、入賞作品は、11月9日から15日までの秋の火災予防運動週間に合わせて、イトーヨーカドー錦町店(錦町1丁目)に展示されます。

高学年の部
応募総数
181点



しみず みさと
清水 美里さん
北小学校4年

「油断から火事に」

火事の原因の一つは、コンロだそうです。ストローに白い絵の具をつけて、熱い油が飛び散る様子を表現しました。火のつけっぱなしには注意しましょう。



高学年の部・銀賞



高学年の部・金賞



高学年の部・銅賞

「ポイ捨てやめて」

たばこのポイ捨てをなくしたくてこの絵を描きました。火が燃え盛る様子が分かるように、濃さの違う赤を使ったり色を細かく塗ったりして工夫しました。



こいけ しおん
小池 紫愛さん
南小学校4年



たかしま
高島 ひかるさん
中央小学校6年

「目も心も 火から離さないで」

怖い顔をしたハート型の火で、油断してしまう悪い心を表現しました。また、一瞬の不注意が火事につながることを伝えたくて、時計を描きました。消防車のサイレンが聞こえる度に心が痛みます。火事のないまちなってほしいです。



さいとう なおと
齊藤 直伴さん
中央小学校3年

「小さな火が
怖い炎に」

タイトルに、「火」の字を2回使って「炎」にしてみました。マッチやライターなどの小さな火でも、家を燃やす大きな炎になってしまう恐ろしさを表しています。



低学年の部・銀賞



低学年の部・金賞



低学年の部・銅賞



あらかし ひろと
荒木 滉斗さん
中央東小学校2年

「危険！タコ足配線」

タコ足配線がとても危ないことを伝えたかったので、タコを怖い顔にしてみました。タコ足配線はとても便利だけど、火事のもとになるのでやめましょう。



かわしま じゅんた
川嶋 純太さん
中央小学校3年

「消防車ロボット
VS 火の怪獣」

火事はまるで、みんなのことを襲ってくる怪獣のようです。助けてくれるのはやっぱりヒーロー。火にとって水は弱点なので、消防車のロボットが火の怪獣をやっつけてくれました。ロボットはかっこいいけど、火事は起きてほしくありません。

— 入賞おめでとうございます —

【高学年の部】

- ・消防長賞
のぐち まあ 野口 真央さん (北小学校4年)
- ・防火協会長賞
さとう みり 佐藤 未理さん (北小学校4年)

【低学年の部】

- ・消防長賞
こんどう まい 近藤 舞依さん (中央東小学校2年)
- ・防火協会長賞
いしはら そうご 石原 壮悟さん (中央小学校3年)

ほか、佳作各10作品

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

●3つの習慣

- (1) 寝たばこは、絶対やめる
- (2) ストープは、燃えやすい物から離れた位置で使用する
- (3) ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

●4つの対策

- (1) 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- (2) 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、
防炎品を使用する
- (3) 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を備える
- (4) お年寄りや体の不自由な人を守るため、
隣近所の協力体制をつくる

問い合わせ = 消防本部予防課 (☎441・0174)



×



蕨高校料理部
一日レストラン

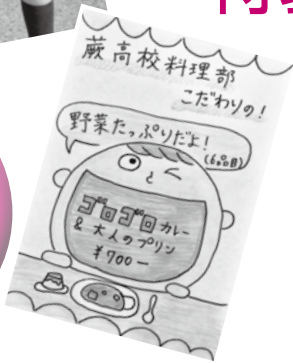


にぎわいのまちづくりに新しい風

特製カレーはいかがですか 蕨高レストラン



PR班
×
元気
いっぱい



工会議所や地元シェフによる協力の下、1日限りの出店が実現しました。真心をこめて作った特製カレーは、健康面も考慮した野菜たっぷりの自慢の一品です。「ごゆっくりどうぞ」と丁寧に差し出されたカレーライスには、一口食べれば思わず舌鼓。お客さんとの語らいから聞こえてきたのは、「ありがとう」という言葉です。高校生によるおもてなしは、心も温まるランチタイムとなりました。

明 るい笑顔とスパイスの香りが広がる店内。蕨高校料理部(部員34人)による「蕨高レストラン」での一幕です。
ここは、誰もが日替わりでオーナーシェフになれる中央3丁目のワンデイスエフレ스토랑「ぶらっと」。地域の活性化などを目的に平成23年10月にオープンした施設です。10月19日、そんな「ぶらっと」で、ランチを担当したのが蕨高生の皆さんです。食を通して地域との交流を深めたいと、蕨商



▲出店を楽しみにしていた皆さんでにぎわう店内

メニュー
Check!

野菜たっぷりゴロゴロカレー & ご当地スイーツ「大人のプリン」



6種類の野菜を使用

カレーはスパイスにショウガを入れた中辛の味付けで、すりおろしたリンゴでまろやかに。大人のプリンには、スフレとプリンが絶妙の食感でカラメルの隠し味にビールを使用。開発には同校料理部の先輩がアドバイザーとして参加しました。



調理班
×
愛情
たっぷり

◀▲オープン4時間前。午前7時に「ぶらっと」に集まり、手際よく仕込みに取りかかります



ホール班
×
笑顔
いちばん



▲いよいよ午前11時のオープン。ホール班も気合いじゅうぶん

▲地域の皆さんとの触れ合いも貴重な経験に



▶「お待たせしました、ごゆっくりどうぞ」と明るい笑顔で接客です

▶「いらっしやいませ、お客様ご来店です」



蕨高等学校
料理部部长
たなか ゆうか
田中 優花さん

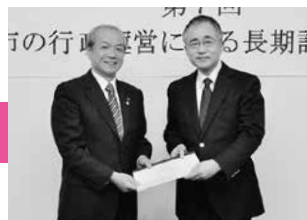
経験は私たちの励みに

初めての出店だったので、不安でいっぱいでした。それでも、多くの人たちに支えてもらいながら、調理や接客、宣伝など4か月前から部員全員で準備を進めてきました。当日は用意した60食が1時間半で完売。お客さんから、「おいしかったよ」と声をかけてもらえたことは、今後の励みにもなりました。機会があれば、また出店してみたいです。



▶おいしさに思わずうっとり

先月、審議会が市に将来構想(素案)を答申



レポート そこが知りたい

〈94〉

「みんなで未来の蕨を創る」 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン

市では、現在、平成26年度から35年度までの10年間にわたる市政運営の基本指針となる、市民と共有すべき蕨の未来を見据えた新たな長期計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの策定を進めています。そこで今月はその概要についてご紹介します。

「コンパクトシティ蕨」の策定義務は廃止されました。こうしたなか、市では、現行の総合振興計画が今年度で終了となるのを機に、新たな長期計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン(以下「将来ビジョン」)の策定を昨年度より進めています。将来ビジョンは、10年間の市政運営の基本指針となる「将来構想」と、その実現に向け、今後展開していく市の主な施策を示す「実現計画」で構成されるほか、施策を推進するための具体的な事業の概要や事業費などを示した「実行計画」も策定していきます(図1)。

市民参画の機会を設けてきました。更に今年4月には、地域の代表や市議会議員などで構成する審議会(会長・林大樹一橋大学大学院教授)を設置し、市民参画で得た意見や提言を活用し、全7回にわたる審議を行ってきました。こうして審議が進められ、蕨市将来構想(素案)の骨子を12月市議会に提案へ

26年度から10年間の指針示す新ビジョン
市では地方自治法に基づき、市政運営の最上位計画として、昭和46年から4次にわたり総合振興計画を策定し、さまざまな施策を展開しています。一方、国の地方分権改革推進計画が進められるなか、平成23年に地方自治法が改正され、総合振興計画の核となる「基本

構想」の策定義務は廃止されました。こうしたなか、市では、現行の総合振興計画が今年度で終了となるのを機に、新たな長期計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン(以下「将来ビジョン」)の策定を昨年度より進めています。将来ビジョンは、10年間の市政運営の基本指針となる「将来構想」と、その実現に向け、今後展開していく市の主な施策を示す「実現計画」で構成されるほか、施策を推進するための具体的な事業の概要や事業費などを示した「実行計画」も策定していきます(図1)。

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの構成



蕨市将来構想(素案)の骨子

- ◎まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」
- ◎まちの将来像「安心とにぎわい みんなにათათかい 日本一のコンパクトシティ蕨」
- ◎まちづくりの基本フレーム(人口・都市形成)
- ◎まちづくりの基本方向
 - ・安全で安心できるまちをつくる
 - ・にぎわいあふれる元気なまちをつくる
 - ・みんなにათათかくだれもが住みやすいまちをつくる
- ◎まちづくりの基本目標
 - ①安全で安心して暮らせるまち ②豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち ③みんなにათათかく健康に生活できるまち ④にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち ⑤快適で過ごしやすい環境にやさしいまち ⑥一人ひとりの心でつながり笑顔あふれるまち
- ◎「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進のために

昭和26年には店舗協の所有地で三共市場を開業し、てんぷら屋や魚屋、菓子屋など7店が軒を連ね、

仲野屋食料品店は戦時中、三和町(南町2・3丁目)にあった営団住宅の共同浴場を改築して昭和23年に父が創業しました。昔の写真は、昭和25年、正月に福引きを開いた際の様子で左下のおかっぱ頭が私です。景品は大きな違い七輪で鮮やかな装飾が施され、とても喜ばれました。店ではみそや乾物などの加工品を扱



旧三和町の食料品店
蕨いまむかし
- 319 -



情報ダイヤル

掲載は無料です
圖秘書広報課 (☎433・7703)

〔讓ってください〕

▶**卓上ミシン** 家庭用 無料 取りに伺います<古田・☎443・2109>

〔無料で差し上げます〕

▶**こたつセット** 幅90㎝×高さ35㎝×奥行70㎝ 1シーズン使用 取りに来てくれる人<栗原・☎442・1807>

〔仲間になりませんか〕

▶**和楽備ラジオ体操練の会** 月・水・金曜日 午前6時15分 城址公園 脳トレも行います<平田・☎444・2222>

▶**英会話ハッピークラブ** 金曜日 午後1時半 中央公民館 月6,000円<嶋田・☎431・7569>

▶**蕨北町サッカースポーツ少年団** 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶**南囲碁クラブ** 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶**蕨中東カンフークラブ** 土曜日 午前11時と午後1時 市民体育館 月3,000円 5歳以上 初心者歓迎<高橋・☎080・6690・2121>

▶**楊名時(太極拳)** 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶**児童合唱団「野うさぎ」** 土曜日 午後4時15分 南公民館 月3,500円 幼児~中学生<近藤・☎441・5659>

▶**田中良忠貝画教室(蛤貝細密画)** 月1回土曜日 午後1時 文化ホールくるる 月5,000円<田中・☎431・2959>

▶**蕨ミニバスケットボールクラブ** 月・木曜日=午後5時 土曜日=午前9時 市民体育館ほか 月1,500円 小学生<橋本・☎090・5415・9170>

〔参加しませんか〕

▶**ダンスパーティー** 21日・22日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

▶**日帰り旅倶楽部** 開運まちあるき~東海七福神 1月11日 1,000円 説明会あり<岩本・☎090・3431・4295>

〔ご相談ください〕

▶**蕨断酒会(酒害相談)** 5日=中央公民館 13日=南公民館 21日=旭町公民館 午後7時<岡田・☎441・3172>

ま ち の 話 題

今年も市内5地区で小学4年生以上を対象に合宿通学が開催されました。下蕨公民館でも10月2日から5日までの4日間で行われ、児童20人が参加。地域の人や指導員に支えられながら、炊事や洗濯などの生活体験を通じて、家庭や協力し合うことのたいせつさを学びました。

10月18日と19日、和楽備神社で蕨市園芸緑化研究会による「第38回園芸祭」が開かれました。会場には市内農家の皆さんが手塩にかけたネギやダイコン、サトイモなど50品目がずらり。訪れた377人は、生産者の顔が見える安全で新鮮な産直野菜を買い求めていました。

10月19日、塚越小学校で「塚小まつり」が開かれました。お祭りは、輪投げやお菓子釣りなどのゲーム、東日本大震災被災地支援の物産コーナーにステーション発表と盛りだくさん。訪れた900人は、PTAの皆さんによる手作りの催しを楽しむとともに、地域の交流を深めました。

健康への関心を高めようと10月20日、「わらび健康まつり・歯ッピーわらび」が中央公民館と市民会館で開かれました。催しは各種測定や歯科健診、相談会に加え、インフルエンザ予防の講演などもあり、訪れた792人とって自らの健康を見直すよい機会となりました。

蕨の中学生が各大会でめざましい活躍を見せています。第二中学校吹奏楽部が東日本中学校吹奏楽大会で金賞、第一中学校陸上部の松下ちひろさん(写真左)は県中学校新人体育大会砲丸投げで優勝。10月23日には代表の生徒が来庁し、その喜びと今後の抱負を語りました。

生活体験で心を豊かに



うまさ格別の地元野菜



交流深める塚小まつり



祭りで高める健康意識



大会で蕨の生徒が活躍



いま



むかし

「三共マーケット」の愛称で親しまれました。その後、家業は氷屋へと姿を変え、長らくこの場所を商売を営んできました。今の写真は、現在の様子。店舗は建て替えられ、当時空き地だった店の西側には昭和43年にくすのき公園が整備されました。

もっとまちが好きになる 蕨七不思議

謎解きスタンプラリー

蕨商工会議所では、蕨駅開設120周年を記念して、「蕨七不思議 謎解きスタンプラリー」を開催します。豪華商品も当たるこの企画、期間は今月30日まで。『広報蕨』11月号に折り込まれた攻略本を手に取り、蕨の七不思議を解き明かしてみませんか。



市内を探索して、7つの謎を解き明かそう

親と子の ニュースの 小窓

謎を解きながら新たな地域の魅力発見

お母さん ワラビ、今月の『広報蕨』に、こんな本が挟んであったわよ。

ワラビ 『わらび謎解きスタンプ攻略本』？

お母さん 市内の施設などにある不思議ポイントを巡って、スタンプラリーやクイズをしながら鉄道にまつわる蕨の七不思議を解き明かすみたいよ。

ワラビ おもしろそう。僕もやってみたい！

お母さん そうね。はじめに、蕨駅か市役所、蕨商工会議所でスタンプ帳をもらうようね。

ワラビ レッツゴー！
お母さん 蕨駅、中央公民館、歴史民俗資料館を回ったから、次は商工会議所に行きましょう。

ワラビ こんにちは。スタンプどこですか？

職員 ワラビちゃん、こ

こですよ。蕨駅開設120周年記念の謎解きスタンプラリーに挑戦してく

れているんですね。
ワラビ これでスタンプが4つそろったよ。

お母さん 不思議ポイント以外にも、市内の観光スポットなどを巡ったので、蕨の魅力を再発見できて楽しかったです。

ワラビ そうだね。蕨駅の歴史についても知ることができたし、続きにも期待しちゃうよ。

職員 謎解きはここからが本番。くるるや大荒田交通公園など、残り3つの不思議ポイントに掲示してある問題の答えを考

えてください。最後までこの不思議カードと応募はがきもなくさないでね。

地元商店のPRとその活性化にも一役

ワラビ 早く謎を解き明かしたいな。

職員 答えが分かったら応募はがきを使って、記念グッズなどが当たる抽

選に参加してください。
ワラビ 分かりました。

職員 更に、攻略本掲載店舗で500円以上の買い物をする、もっと豪

華な賞品が当たるプレミアム賞にも応募できます。
お母さん 商品券やゲーム、鉄道模型もあるのね。
職員 なお、掲載店舗については、飲食店や雑貨屋など、合計41のお店にご協力いただきました。
ワラビ 僕の好きなハンバーグのお店もあるよ。
お母さん 蕨でお金が使われたり、市内の商店の魅力であらためて知って

もらったりと、地域が元気になっていいですね。
職員 そうですね。
ワラビ 次の不思議ポイントに、早く行きたくな

ってきちゃったよ。
お母さん どんな謎が待っているのか楽しみね。
ワラビ うん。回り終わったらハンバーグを食べ

て帰るのも忘れないでね。
問い合わせ 蕨商工会議所(☎432・2655)

不思議ポイントは全部で7か所。詳細は攻略本で確認を





ほっと・エッセイ 65

待機児童の解消に向け 市有地を活用し保育園整備へ

市長 頼高英雄

公民館において、子育て世代の皆さんとの対話事業を行っています。毎回、子育てや暮らしに関することなど、貴重なご意見を伺うことができます。そのなかで、声として多いのが、保育園の問題です。保育園に入りたくても入れない、いわゆる「待機児童」は、全国的な問題となっています。蕨市では、こうした状況を解消していくと、民間との協働により、認可保

育園の増設を進め、23年4月には、蕨駅西口駅前に「けやき保育園」、25年4月には、錦町に「アートチャイルドケア蕨」が開園しました。しかしながら、その後も保育園を希望するカタが増えていることから、まだ、待機児童の解消には至っておりません。そこで、塚越にある市有地を活用して、新たな民間認可保育園を整備することとしました。現在、園を設置・運営する事業者を公募しており、事業者の選定、認可などの手続きを経て、27年4月開園を目指しています。対話のなかでは、多くのかたから蕨市は子育てしやすいとの声をいただいています。今後も、子育て世代に優しいまちづくりを進めていきます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は7日。12月は5日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



子どもクラブ

ボールが描く笑顔の架け橋

西小学校

赤や青、黄色のカラフルなボールがふわりと宙を舞う。西小学校の体育館で直径6センチのボールを操るのは、ジャグリングクラブに所属する小学4年から6年生までの児童21人です。投げられるボールはまだ3つ。それでも、回せる回数や技は増えてきました。「簡単そうに話すと、腕を磨きます。小さな曲芸師たちのボールが弧を描く度に、笑顔の輪が広がっていました。



わが家のアイドル

樹輝ちゃん
(1歳1か月)

山田 真道さん
山田 詠子さんの

長男

塚越4丁目

-499-

「1歳を迎えればかなりの樹輝。電話を掛けるまねをしたり、人と会うと手を振って挨拶したりと、その成長に驚かされてばかりの毎日です。そんな樹輝が、はいはいで近づいてきて、頭をこつんとくっつけてくるときは遊ぼうの合図。最近、伝い歩きに夢中なのか、「こつん」が減ってきてしまいました。でも、これも成長の一步。そう思うと幸せな気持ちになります。樹輝には、心も体も強い子に育ってほしいですね」と、母親の詠子さん。

ち

腸内細菌

腸内には、600兆個ものさまざまな細菌が生存しています。加齢、運動不足、飲酒、喫煙、特に高脂肪食をとることで腸

かるた DE ヘルスケア



蕨市立病院
柴田 優子 医師

内の悪玉菌が増え、肥満、肌荒れ、アレルギー、癌、最近では早産にも関係することが分かっています。腸内環境を整えることは健康な身体を保つためにたいせつなことです。乳酸菌やビフィズス菌、食物繊維の摂取はもちろんのこと、抗酸化物質をとることで直接腸内のサビと戦って改善できることも分かっています。ぜひ、あなたの腸にもアンチエイジングを！柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を

y u u k i H i p H o p 代表

輝いています

ひと

こばやし ゆうき 小林 優喜 さん



「ダンスは表情と動きがたいせつ」と小林さん

ダンスと笑顔のリズムに乗せて

弾

むリズムに、光る汗。躍動的なダンスを踊る子どもたちの傍らで指導するのは小林優喜さん（30歳・北町1丁目）です。ヒップホップダンスの指導者として、地域でその魅力を伝えていきます。幼い頃から人前でダンスを披露するなど、踊ることが大好きだった小林さん。本格的にヒップホップダンスを始めしたのは中学卒業後のことでした。時間を見つけては路上パフォーマンスなどに繰り返しダンスに明け暮れる毎日でした。21歳のときには、「一からヒップホップダンスを勉強したい」と、ダンススクールに入校。ひたむきに練習に励み、表現力を鍛えるとともに、き

れのある動きを手に入れた小林さん。「がんばり屋さんの優喜ちゃんが生徒になったら、どんな感じなのか」。友人のひと言から、指導者としての姿を意識するようになりました。そんな小林さんは、24歳のときに、「生まれ育った蔵でダンスの輪を広げたい」と、市民体育館での指導をスタート。「表情は豊かに、体はパワフルに。見る人を魅了して」と、常に観客の視線を意識させるような指導を心がけてきました。「子どもたちが迫力のあるダンスを楽しそうに踊っていて、ひきつけられる」と、その指導力が地域で評判になり、現在では子どもから大人まで80人以上を指導。そうした活動の集大成として、12月22日には市民会館で教え子たちの発表会を開きます。そのほか、保育園や地域子育て支援センターでのダンス指導など、活動の幅を広げている小林さん。「ヒップホップダンスでまちをもっと盛り上げたい」と、最近では踊りへの情熱だけでなく、郷土愛の深まりも感じています。まちをにぎわす教え子たちの踊りとたくさんの観客の笑顔。その日を目指し、今日もダンスの楽しさを伝えています。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!! みんなの力

蔵ボランティア朗読サークル 草笛

メッセージ



やまもと しずこ 会長

言葉に乗せて広げたい 朗読を通じた交流の輪

私たち朗読サークル 草笛は、読み聞かせの好きな仲間12人が集う、ボランティア団体です。昭和53年に創立し、毎月第4月曜日の朗読についての勉強会や、老人ホームへの訪問など、さまざまな活動をしています。そのなかで、約30年にわたり、定期的に行っているボランティア活動が視覚障害者用の録音テープの作成です。総合社会福祉センターの録音室で、「広報



朗読は、正しい発音と美しい日本語を心がけて

蔵」、「市議会だより」、「福祉だより」を朗読して、マスターテープに録音しています。今年4月には、それまでダビング作業を担当していた団体・ともしびと合併し、現在は、録音からダビング、視覚障害者協会の会員の皆さんへの発送まで、その全工程に草笛が携わっています。このほか、中央地区生涯学習フェスティバルでの司会や、わらび郷土かるた大会の読み手を務めるなど、楽しい触れ合いを合い言葉に地域の皆さんと交流を深めています。そんな私たちといっしょに活動していただけるかたは、草笛事務局（☎442・0883）までご連絡ください。

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎445・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。